

令和元年（2019 年）6 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（4 日目）

令和元年 6 月 20 日（木）

※1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	野 原 嘉 孝 (公 明 党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 固定資産税 について 2 保育行政に ついて 3 通学路の安 全対策につい て 4 新都心地域 の環境整備に ついて 5 公園駐車場 の運用につい て 6 道路行政に ついて	真嘉比区画整理地域にアパートを所有する方 から固定資産税が毎年上がって大変に困ってい るとの苦情を頂いた。市内の固定資産税（土地） の変動状況とその対応策について伺う (1) 幼児教育無償化へ向けた認可園や認可外 への説明会の状況について (2) 幼児教育無償化の実施で初年度にあたる 本年、本市が負担してきた予算がどれだけ浮 くのか伺う 真嘉比小学校の校門（モノレール駅側）前の通 りの状況が変わっているが、横断歩道の設置等、 安全対策はどうなっているか伺う (1) 新都心公園「沖縄の杜」の整備状況について (2) 消防本部前の通りの保安灯がほとんど機 能していない。設置の経緯と保守管理の状況 について伺う 松山公園駐車場（有料スペース、福州園側のス ペース）の利用状況について伺う 久茂地 9 号の改修計画について地元通り会と の話し合いの状況と今後の流れについて伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 令和元年６月２０日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	上 原 仙 子 (なはのみらい)	1 観光行政について	(1) 本市における直近3年間の観光客数の推移を伺う (2) 観光客の増加に伴って派生する、いわゆる観光公害（オーバーツーリズム）について、当局の見解を伺う (3) 本市におけるクルーズ船の寄港数の推移を伺う
		2 伝統工芸について	(1) 国や県が認定する伝統工芸品以外の本市の伝統工芸にはどのようなものがあり、どのような支援を行っているか伺う (2) 小禄地域の伝統文化、伝統工芸である小禄紺地（ウルククンジー）の活動拠点の整備ができないか、見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和元年６月２０日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	大 浜 安 史 (公 明 党)	1 ICT教育行政について	(1) 2020年度新学習指導要領スタートに伴い、全小中学校に電子黒板が設置された。小中学校でICT教育交流授業や小学校ICT教育研修会等の取り組みについて伺う (2) タブレットの小中学校への設置及び活用状況について (3) 特別支援学級へのタブレット設置及び活用状況について
		2 市営住宅行政について	(1) 石嶺市営住宅の活用用地について伺う (2) 石嶺市営住宅内の高齢者や障がい者専用スロープ設置について ① A5棟～A6棟階段へのスロープ設置 ② バス転回広場から県道29号（那覇・北中城線）へのスロープ設置
		3 公園行政について	(1) 久場川公園整備事業の進捗状況について (2) 久場川公園入口の（首里消防署隣り）の一部公園整備と活用について
		4 交通安全行政について	石嶺駅周辺は10月1日モノレール供用開始に伴い交通渋滞が予想され交通安全対策が必要との声が多くある 石嶺駅前交差点への横断歩道設置と信号機（時差式・矢印）設置及びガードレール設置について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

質問方式

一問一答方式
(演壇・質問席)

一般質問（４日目） 令和元年６月２０日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	小波津 潮 (なは立志会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	公立中学校夜間学級等の設置について	平成28年12月14日に「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」が施行し、この中で「地方公共団体は、夜間その他特別な時間において、授業を行う学校における就学の機会の提供、その他の必要な措置を講ずるものとする」とあり、本市は公立中学校における夜間学級等の設置について、そのニーズは高いものと思われ、設置すべきである。本市教育委員会の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和元年６月２０日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	永山 盛太郎 (ニ ラ イ)	1 環境行政について	(1) 飛散性アスベストの除去、廃棄に関して、本市への届け、審査等について伺う (2) 過去本市における飛散性アスベストの除去、廃棄関連での重大事故について伺う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 学校行政について	(1) 那覇A特別支援学校(仮称)について伺う ① 学校の概要及び学習内容の特徴について伺う ② 地域との連携について伺う ③ 近隣交通状況について伺う (2) 教職員の勤務実態について伺う ① 教職員の月平均勤務実態、全体及び職種別について伺う ② 教職員の月別平均残業時間、全体及び担当別(担任、部活等)について伺う ③ 残業削減への取り組みについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和元年６月２０日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	古 堅 茂 治 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 平和行政・平和教育について	６月２３日は「慰霊の日」。うちなーんちゅとして、政治に携わるものとして、戦争犠牲者を追悼し、命どう宝、反戦平和の“沖縄の心”、恒久平和への強い思い・決意を共有し固めあう６月としなければならない 沖縄県平和祈念資料館のホームページの「戦世の記憶」では、「沖縄戦の最大の特徴は、正規軍人よりも一般住民の犠牲者数をはるかに多かったことである。戦闘の激化に伴い、米英軍の無差別砲爆撃による犠牲のほか、日本軍による住民の殺害が各地で発生した。住民は逃げ場を失い、米軍に保護収容される者もいたが、食糧不足による餓死や追い込まれた住民同士の殺害などもおこり、まさに地獄の状況であった。沖縄戦では 20 万人以上の人々が犠牲になったが、そのうち沖縄県民の被害は一般住民の犠牲者が 9 万 4 千人以上、軍人・軍属を含めると犠牲者総数は 12 万人以上となっている。」と沖縄戦の実相を記述している 城間市政で策定した第 5 次那覇市総合計画では、まちづくりの 5 つの基本的姿勢の一つとして、「平和の絆―過去の苛烈な体験を胸に刻み、先人の平和を願う強い想いを引き継ぎ、さらに発信することで、次代を担う子ども達が安心して暮らせる未来を創ります。」と謳っている 平和行政、平和教育へ取り組む基本方針を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 文化行政について	地域の伝統文化とアイデンティティの根幹・基層をなすのが地域の言語・方言。2009年、ユネスコ（国連教育科学文化機関）は、日本で消滅の危機にある言語（方言）として、【極めて深刻】アイヌ語【重大な危機】八重山語（八重山方言）、与那国語（与那国方言）【危険】八丈語（八丈方言）、奄美語（奄美方言）、国頭語（国頭方言）、沖縄語（沖縄方言）、宮古語（宮古方言）を発表している 本市では、2012年に当時の翁長雄志市長が開始した「ハイサイ・ハイタイ運動」が継続され8年目を迎えている 那覇市文化協会では、2011年に消滅危機にある「琉球諸語・しまくとうば・うちなーぐち」の保存継承を目的に「うちなーぐち部会」を結成し、様々な取り組みを続けている これらの経過を踏まえ、第5次那覇市総合計画でしっかり謳われている、しまくとうばの普及・継承に関する市長部局・教育委員会の取り組みを伺う
		3 下水道行政について	本市と隣接した自治体(浦添市・豊見城市・南風原町)には、地形的な関係で他の自治体に議会の議決を得て汚水を流している地域が存在し、その下水道使用料は汚水を受け入れている自治体に支払うことになっている。ところが、本市が受け入れている浦添市前田地域については、浦添市が市民から下水道使用料を徴収していながら、浦添市から本市への報告漏れにより本市への未納問題が発生している。経過と当局の取り組みを問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長

一般質問（４日目） 令和元年６月２０日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	清 水 磨 男 (ニ ラ イ)	1 子育て行政について	(1) 幼児教育保育無償化にあわせて、私立幼稚園や認定こども園などの便乗値上げは無いのか伺う (2) 未就園児、不就学児等の調査の結果を伺う (3) ヤングケアラーの実態把握の状況を伺う (4) 1型糖尿病への那覇市の対応状況を伺う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 国の法律への那覇市の対応について	(1) 種子法の廃止に対する那覇市の考えを伺う (2) 市指定のゴミ袋を、レジ袋に活用することへの考えを伺う (3) 民法改正により、2022年4月から成人年齢が18歳となるが、那覇市の成人式の取り扱いを伺う
		3 寄付の活用について	1970年の市民会館落成にあたり、第1緞帳購入の3万ドルは個人や団体から、第2緞帳購入の3万ドルは松下電器産業株式会社からの寄付で賄われた 現在では、大阪や長崎、広島など、各地のサッカー場整備に民間からの寄付が活用されている 新文化芸術発信拠点施設、公設市場やアーケード、J1対応サッカー場などの建設にあたり、寄付を募る考えは無いのか伺う
		4 交通行政について	(1) 「空飛ぶクルマ」として、経済産業省を中心に、「空の移動革命」がロードマップや官民協議会も設置されて検討されていることへの那覇市の考えを伺う (2) 那覇空港利用に際して、送迎のために空港駐車場利用が促されているが、全く利用者向けではない設定となっていることへの見直しについて那覇市の考えを伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和元年６月２０日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	奥 間 亮 (自 民 党)	1 安全安心な まちづくりに ついて	防犯カメラ設置事業を創設すべきである。見解を問う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 学校施設整備の推進について	小禄中学校の環境整備をさらに予算措置し推進すべきである。「裏門周辺の生い茂った樹木等の剪定を早期に実施してほしい」との声がある、見解と対応を問う
		3 中学生の放課後の過ごし方に関する調査について	私はこれまでの議会で、沖縄県の中学生の部活動参加率が全国で最も低いという事実と、中学生の放課後の居場所を充実させるべく、これに関する調査や取り組みの実施について、再三にわたって提案してきた 平成 29 年 12 月定例会では城間市長から「おっしゃるとおり、この放課後の時間の過ごし方というのは非常に重要で、学校では十分な把握はしてないかと思いますが、おっしゃるとおり学力に結びつく、あるいは過ごし方に結び付くということで調査、研究をしていく必要があろうかと思います。」という答弁があり、また平成 30 年 6 月定例会でも城間市長から「調査の結果をどのように活用するかということでのお話もありましたけれども、私個人的には、他機関に委託するよりは、一番子どもたちに身近な人がその子どもたちの状況を知っているの、やり方、方法としてはいろいろあろうかと思いますが、しっかり精査をして、議員が今おっしゃったような指摘は非常に有効だなとは思っています。ですので、どういう形でできるかということ、また改めて宿題とさせていただきたいと思っています。」という答弁があつたが、この日から今日までの間に、具体的に新たな取り組みを実施したか、市長に問う
		4 実施計画と沖縄振興特別推進交付金について	次の実施計画(施策別)策定における、沖縄振興特別推進交付金事業の取扱いについて問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 こどもの貧困対策関連事業について	那覇市も、若年妊産婦の居場所支援及び子どものシェアハウス事業への支援を、新たに実施すべきである。現状と今後の取り組みを問う
		6 障がい者福祉について	地域生活支援拠点整備について問う
		7 児童虐待防止について	児童相談所に寄せられた児童虐待事案に関する全ての情報を、児童相談所と警察との間で共有する都道府県が増えている。このような、児童相談所と警察とのいわゆる情報全件共有について、沖縄においても実施すべきと思うか否か、那覇市の見解を問う
		8 特別支援学校について	本市在住の子どもたちの、特別支援学校の今後の就学ニーズについて問う
		9 立地適正化計画について	那覇市の立地適正化計画策定に対しては、戦略的かつ大胆な誘導策が期待されており、県や他市町村も注視している。「誘導策のあり方をはじめ、結果的に現状とあまり変わらないような計画であれば、期待はずれと思われるのでは」と懸念する市民の声がある。城間市長はどのような誘導策を実施したいのか(特に那覇西地域や那覇新港周辺地域を中心に)城間市長ご本人の考え方について問う
		10 少年補導後の対応について	深夜徘徊等による少年補導後の、引き継ぎや情報共有の現状と課題について、福祉部と教育委員会にそれぞれに問う
			【答弁を求める者】 市長、関係部長